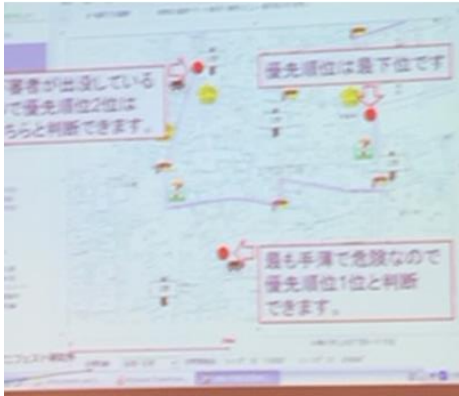


平成29年度 市町村議会研修 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開」
日置市議 橋口正人・留盛浩一郎 11月16日～17日

12:30-14:00

地方自治の現状と
議会改革の動向



議会の常任委員会は、執行部の組織機構に合わせたもの、執行部の組織機構は、国の各省庁の組織機構に合わせたもの各省庁の組織機構は、縦割りでイノベーションが起こりづらい、すなわち、国に合わせた組織の概念を破壊しなければならない。(現行の総合計画は縦割り型)総合計画の指標と住民幸福度の指標をミックスしなければならない。

正しく地方政府を実現していく為には、執行権を持つ首長サイドと、もう一つは決定権・審議権を持つ議会が重要である。

14:15-15:15

議会改革の進め方

15:30-17:35

住民参加・情報公開を
進める取り組み

- 主な質疑
- Q 議会改革の委員長をしています取り組みについて議運では全会一致でないといけなくなっていますが、会派の一部の反対があって、議会改革が上手くいかないがどのような工夫をすればいいのか。
- A 議長のリーダーシップと少数意見を徹底的に拾い上げていく、熟字をしたうえで物事を進めていく、〇〇の議員さんがいる所は全会一致は無理ですので五分之四・五分之三で決めていかないとけない。議運の全会一致は申し合わせ、それを会議規則に乗っかって変えていく足かせを外していく改革が大切ではないかなと思います。
- A 全員で行って全員で書く報告書をまとめることで、方向性がでますので先進地へ行って意識の共通を図り、全会一致にしていたのですが

中にはみんなと一緒にやりたくないという議員がおられますので、全体としてまとめあげていく

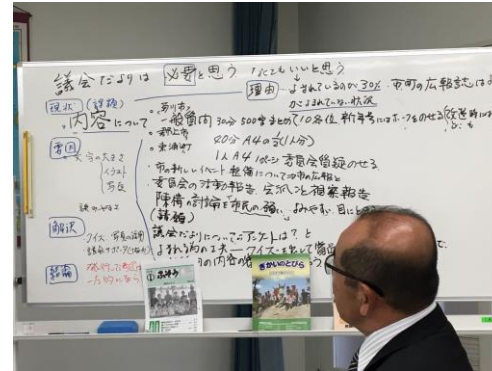
9:00-12:00

各議会における今後の議会改革推進の検討
 9:00-9:40 9:40-11:00 11:00-12:00
 進め方説明 ダイアログ 発表・講評

13:00-14:30

今後の議会改革の進め方
 13:00-14:30

- ・ 議会とは話し合っで決める集団
- ・ 二元代表制は車の両輪ではない
- ・ 執行部案がすべて正しいわけではない
- ・ 熟議型議会こそが住民投票では代替えできない議会
- ・ 市民アンケートは5年に一回
- ・ どうすれば障碍を乗り越えて実現できるか
- ・ 議会報告会は報告するひとが目的でなく、市民と議会のダイアログの機会



ダイアログ(対話)の説明
 ・ 岐阜県郡山、愛知県扶桑東浦、静岡県菊川、滋賀県遠賀市の五名の市議さんとダイアログでの演習をいたしました。右の写真が演習風景です。

